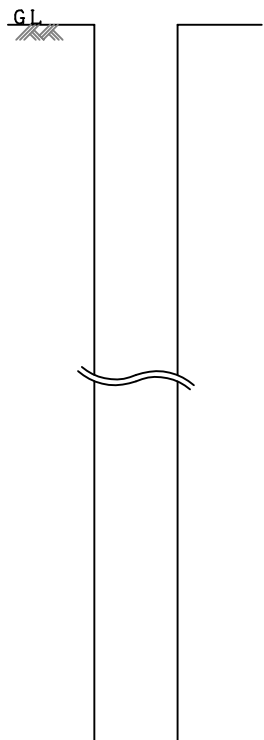


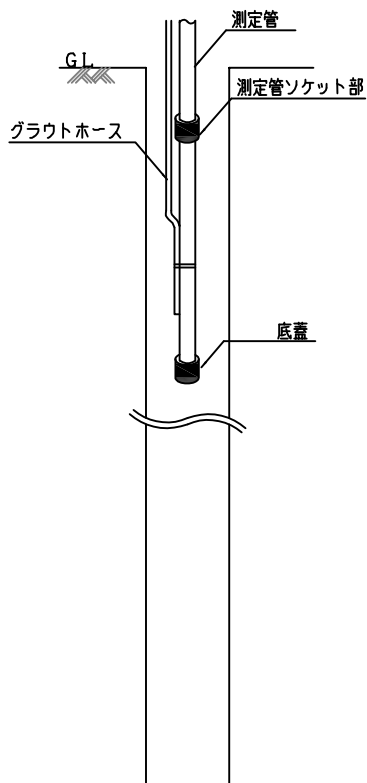
# 測定管の設置手順書(地盤内)

①



・所定の深さまでボーリングする。

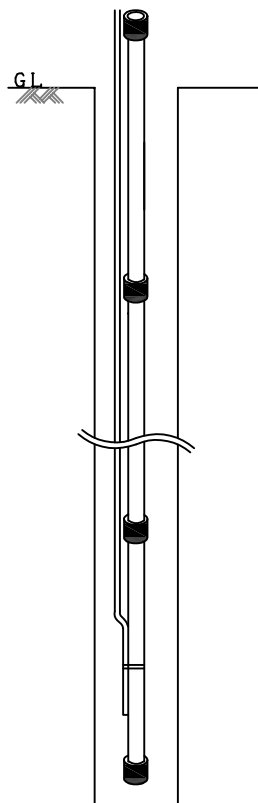
②



・測定管を設置する順に並べる。  
最深部(底蓋付)、  
最上部は3mものとする。

・最深部の蓋付測定管に  
グラウトホースをビニールテープで留めて、  
ボーリング孔天端から  
1m程度頭が出るように建て込み、  
測定方向を合わせる。

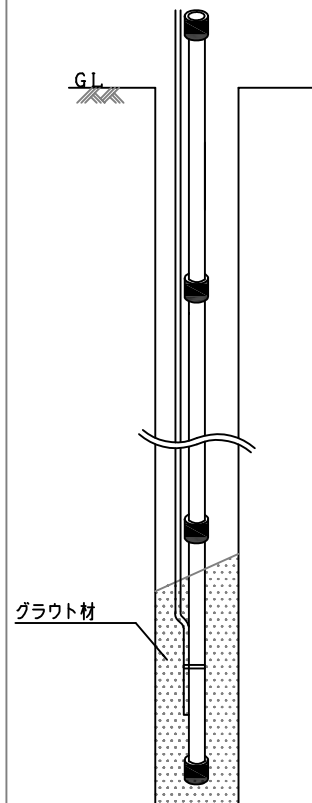
③



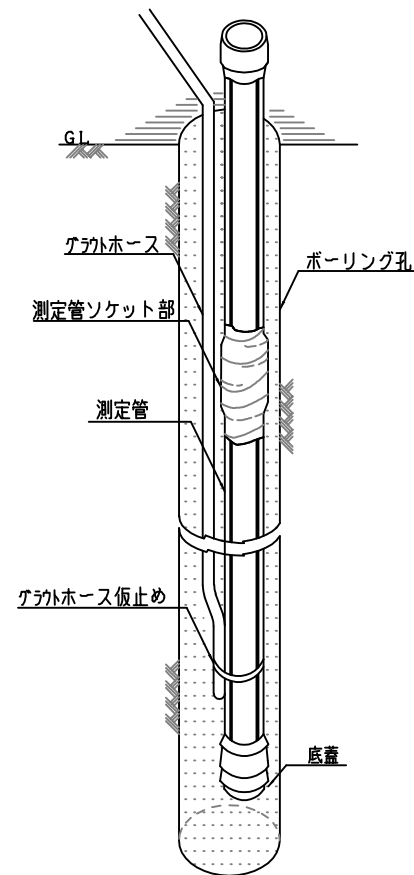
・次の測定管を接続して、  
ソケット部にガムテープ及びビニールテープ  
を巻き付けて固定する。  
②と同様に1m程度頭が  
出るように建て込む。

・この操作を繰り返して  
所定の深さまで測定管を建て込み  
最後に測定方向を確認してから  
測定管頭部を固定する。

④



・測定管建込時にセットした  
グラウトホースを利用してグラウトする。  
・グラウト時、測定管に浮力が発生  
した場合測定管内に水を入れ、  
浮力を除去する。  
・グラウトが終了し次第  
グラウトホースを引き抜く。  
・グラウト天端の沈降  
(グラウト終了後1時間程度が目安)  
が認められたら、  
グラウト材を天端より投入する。



< 以後の作業 >

- ・測定管天端をやすりで面取りする。
- ・初期値取りをする。
- ・測定管内に異物が混入しないように  
常時測定管頭部に測点記号を  
白ペンで記入した蓋をしておく。